

SAISON
AMERICAN EXPRESS®
CARD NEWS

2019
AUGUST

8

interview :
五嶋龍

五嶋龍の音楽に見る

ヴァイオリン音楽の
楽しみ方



クレディセゾン
はサッカー日本代表の
サポーティング
カンパニーです。

タイムレスな音楽の本質を現代に合わせた演出で

「ヴァイオリンは、弓で一音を長く弾くタイプの弦楽器のなかでは高い音が出る、スターパワーのある楽器です。オーケストラのなかでチェロやヴィオラが鉄塔のように基盤を支える役なら、ヴァイオリンはその上の線路を走り、旋律を聴いてもらえる存在。ソロに向いています。そんなところから、ヴァイオリニストは周りが見えないタイプが多いかもしれません（笑）。また10本の指で鍵盤を弾くピアノのように重音ではなく単音を速弾きすることが多いので、クラシック音楽になじみのない人にも聴きやすいともいえますが、音楽の深みである重層的な部分はヴァイオリニスト自身が勉強しなければ、演奏に深みが出てこ

ないという面もあります」

物心つく前からヴァイオリンの音を聴いていたという五嶋龍さんは、同じく世界的ヴァイオリニストの五嶋みどりさんを姉にもち、母の五嶋節さんの指導で3歳からヴァイオリンを弾きはじめました。

7歳のときに、「パンフィック・ミュージック・フェスティバル」でバガニーニの難曲とされる「ヴァイオリン協奏曲第1番」を弾き、デビュー。以来、ソリストとして世界屈指のオーケストラや音楽家たちと共演。コンサートでは愛器である1722年製のストラディヴァリウス「ジュビター」で、聴衆の耳を楽しませています。

その五嶋さんが音楽という芸術のすばら

しさを痛感したのは、高校時代のこと。

「さまざまなジャンルの音楽を聴くうちに、詩的な表現になりますが、『音楽は真実を語っている』とそこで気づいたんです。作者の視点で見た真実を形にしているのが芸術であり、その形が音楽や絵画といったものですよね。そこには感情や感覚、感性で見た、作者の現実が書きとめられています。『この人はなぜこのジャンルの音楽を聴くのかな』と考えたとき、ロックでもジャズでも、それぞれの音楽が語る真実や視点に、その人が共感しているからなんだと思ったんです。音楽には作曲家、演奏家、聴く人の内面を照らす力がありますね」

ヴァイオリンに加え、7歳から続けてい

弦楽器のなかでも
高く豊かな音色と
スターパワーが個性

五嶋龍の音楽に見る

ヴァイオリン音楽の楽しみ方

世界各国で演奏活動を行うヴァイオリニストの五嶋龍さん。

7歳でコンサートデビューを飾って以来、

スターの輝きに、完璧な技巧と表現力をもって、クラシック音楽を広く届けています。

そんな五嶋さんに、ヴァイオリン音楽ならではの個性と魅力、

その楽しみ方を案内していただきます。

photograph: COVER, P.2・3・5 Junji Ishiguro text: P.2~6 Mayumi Yawataya
styling: Tomoko Yasuno (CORAZON) hair&make: You Takahashi (fringe)

五嶋龍(ごとう りゅう)

1988年、アメリカ・ニューヨーク生まれ。ヴァイオリニスト。3歳からヴァイオリンをはじめ、95年、7歳で「パンフィック・ミュージック・フェスティバル」にてデビュー。以後、世界屈指のオーケストラ、音楽家と共演。2003年、ドイツのクラシックレーベルの名門、グラモフォンと専属契約し、アルバム『レジェンド』などを発表。2015~17年には『題名のない音楽会』（テレビ朝日系列）の司会を務める。9月28日、29日の『STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019』出演ほか、国内外でコンサートを予定。使用楽器は日本音楽財団より貸与された1722年製のストラディヴァリウス「ジュビター」。

公式ウェブサイト

<https://www.ryugoto.com>

Twitter: @RealRyuGoto

衣装は全てスタイリストの私物

る空手や、ハーバード大学では物理学を専攻。国際文化交流や教育支援などの社会貢献にも積極的です。そんな多彩な活動のなかで見つけた自身の哲学は、演奏家として、人として、生き方の基本になっているとも。「音楽も空手も、表現の仕方であって、すべてが自分の哲学につながっているんです。僕の哲学をひと言で表現すると、“サバイバリズム”だと思います。」

現代はいろんなことが楽になっていて、指先ですべてできるところがありますよね。でもそれでは、“生き残る”ための根底にある力を見失う気がする。人間も動物ですから、根源的な部分を大切にしたいほうがいいと思います。僕のイメージでは人間はファイター。生き延びることに意味があり、そこを根っことして、木の枝のように文化、芸術といったものが伸びているんじゃないかなど」

たしかにクラシック音楽は、人ひとりの命のスパンを遥かに超えた時間軸で生き残り、鑑賞されてきた楽曲です。そうした曲には、作曲家たちが感じたこと、イメージしたことが投影されていると。「体が朽ちても、その精神性が音楽には残る。それもサバイバルですね。人類の文化のなかで尊いものは、時間の制限があるからこそつくられてきたと思うんです。いつか死ぬからこそ『生きたい、何かを残したい』と。限られた時間のなかで作曲家た

ちが何かを残そうとしたんだと思うと、その作品が愛おしくなるし、協奏曲ならその20分、40分の中身がすごく理解できるようになります。また、そうした音楽には生命力がある。そんな本能的にインパクトのある音楽が、今、求められているとも思う。僕の本能はそれを、求めていますね」

五嶋さん自身、精緻な演奏テクニックに情感とパッションを自在に乗せる力をもったパフォーマーですが、「クラシック音楽に必要なのは“生きた音楽”と話します。「例えば、モーツァルトが生きていた時代のように、モーツァルトの曲を演奏しようとしても無理ですし、伝わらないと思うんです。人は五感で環境を感じているものですが、現代のインターフェイスや環境は昔とは違う。江戸と東京をとっても、一日のペースや時間の感覚はおそらく違いますよね。だから、昔のものを現代にそのまま再現してもしっくりこない。それよりも本質的なメッセージはそのままに、その包み方、つまり演出やプレゼンテーションを今に合わせていく。それが“現代に生きた音楽”です」

現代的なアレンジや舞台演出、衣装などで、今に生きる人々の五感との距離を縮める工夫は、オペラをはじめ、クラシック音楽で盛んに行われていること。そこで生きた音楽を演奏家が表現するには、音楽の本質を理解することがまず必須となります。「本質をきちんと理解すれば、演出は意外

と楽にできるんです。現代の人間である自分が、自分らしく納得するようにやれば、観客の皆さんにある程度は伝えることができます。僕は高校生の頃に映画音楽を好きになったのですが、『あれ？これクラシックじゃん』と思うことが多々ありました。クラシックかどうかをわけるのは、使っている楽器やオーケストラなどの演奏の形態の違いだったりして、音楽の本質には実は変わりはないんです」

原曲がクラシック音楽と知らずに楽しんでいる、ということが実は少なくありません。例えば映画には、シーンの演出にクラシック音楽が効果的に使われていることも。「ディズニー映画の『ファンタジア』は有名ですね。バッハやチャイコフスキーなど、あの映画でクラシック音楽を知った子どもたちがたくさんいました。魔術師のもとでミッキーがいたずらをするシーンに流れる音楽（デュカス作『魔法使いの弟子』）なんてびっくりです。子どもたちは自分がマスターになったような気分になり、感情移入できて（笑）。そんなふうクラシック音楽の入り口はいろいろあります」

コンサートでは、観客との言葉のない交流も五嶋さんには大切な要素。文化圏が違えば物事の捉え方や間合いが変わってくるなど、聴衆との異文化コミュニケーションも演奏をつくりあげる秘訣のようです。「音楽を届ける方法も多様で、懐石料理の

生きた音楽。
生命力を感じさせる音楽を
皆、求めているんです



ように全体で季節感を感じさせ、ハーモニーを響かせるプレゼンテーションがあれば、その中のひと皿の味から入ってもらおうのいい場合もあって(笑)。1楽章を弾き終わって「受け入れられてない」と感じたときには、「2楽章のここでボリュームをあげてみよう」と、DJのミキシングのような工夫もするんです。演奏家はDJみたいなところがあるんですよ」

時には、日本の侘び寂びのような渋い魅

力の曲や、何百時間かけて勉強した演奏家だからよさがわかる曲を届けることも。「弾いてるうちにすばらしさがわかり、のめり込むような曲もあるんです。そうした曲を初めて聴く人たちに届けるときは、結構頭をひねりますね。苦労はしても、プレゼンテーションを工夫して、音楽の本質を伝えることは、やっぱりおもしろいです」

究極のソリストとは、どんなオーケストラ、指揮者、聴衆とでも、スターとして中

心に立ち、周囲の協力を引き寄せて自分のイメージどおりの演奏ができる技をもってるとか。さらに今回、ヴァイオリン音楽の楽しみ方も教えていただきました。

「おススメのヴァイオリニストは、イツァーク・パールマン。彼はヤッシャ・ハイフェッツと並んで、ヴァイオリンの音色を究極のところまで高めたヴァイオリニストです。『ヴァイオリンの音って何?』と思われたら、彼の音色をまず楽しんでみてください」

YU GOTO'S Recommend Violin Music イツァーク・パールマン名演集

Recommend_01

「Beethoven: Violin Sonatas Nos.4 & 5」



稀代の演奏家たち、夢の共演

ヴァイオリン・ソナタの名作のひとつとして知られる《春》を収録。パールマンとヴラディーミル・アシュケナージ(ピアノ)というふたりの名手が導き出す音色に魅了される。

DATA

「Beethoven: Violin Sonatas Nos.4 & 5」/
イツァーク・パールマン / 1,620 円 /
UCCD-4985 /
ユニバーサル ミュージック

Recommend_02

「plays Fritz Kreisler」



3枚組からなる生誕記念盤

パールマンの生誕 70 年(2015 年)を記念して制作されたアルバム。パールマンの 1960 年代末のデビュー録音から 70 年代にかけてのアナログ録音をリマスター。

DATA

「plays Fritz Kreisler」/
イツァーク・パールマン / 4,320 円 /
WPCS-13277/9 /
ワーナーミュージック・ジャパン

Recommend_03

「Mendelssohn & Bruch: Violin Concertos」



魅惑のヴァイオリン協奏曲集

オランダの名指揮者ベルナルト・ハイティンクとパールマンがカップリングした協奏曲。優美な抒情、雄大なスケール、豊かな音楽性により奏でられる 2 つの曲を収録。

DATA

「Mendelssohn & Bruch: Violin Concertos」/
イツァーク・パールマン / 1,512 円 /
WPCS-23049 /
ワーナーミュージック・ジャパン

Recommend_04

「Beethoven: Violin Concerto, etc」



人気曲で味わう名演の数々

高い人気を誇るベートーヴェンの協奏曲をはじめ、ヴァイオリン曲の傑作を、パールマンが確かな技量と美しい音色で見事に表現した一枚。指揮はカルロ・マリア・ジュリーニ。ほか。

DATA

「Beethoven: Violin Concerto, etc」/
イツァーク・パールマン / 1,543 円 /
WPCS-50321 /
ワーナーミュージック・ジャパン

五嶋龍さんも出演する全野外型クラシック音楽祭

イープラス presents

『STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019』

“芝生の上でビールやワインを片手に、自由なスタイルでクラシック音楽を味わう”という、あの興奮と感動が今年も帰ってきます。

今回も、「HARBOR STAGE」と「GRASS STAGE」の異なる2つのステージから、多彩なラインアップをお届け。

また特別出演として、五嶋龍さんの出演も決定。

「音楽の楽しさを、そのまま感じてもらえるようなステージにしたいと思っています。とにかく楽しませたいですね!」(五嶋龍さん)

横浜港のサウンドスケープを感じながら、気軽に、そして自由にクラシック音楽を楽しむ。きっと忘れられない2日間になるはずです。

DATA

イープラス presents 『STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019』(スタクラフェス)

公演日: 9月28日(土)・29日(日) 開演: 10:30

会場: 横浜赤レンガ倉庫特設会場

出演: 【総司会】松下奈緒(ピアノ) 【特別出演】五嶋龍(ヴァイオリン)
【ソリスト】反田恭平(ピアノ)/上野恭平(サクソ)/藤田真央(ピアノ)/
植岡流太郎(ピアノ)/紀平凱成(ピアノ)/小林沙羅(ソプラノ)/
北川辰彦(バスバリトン)/西村信(テノール)/阪田知樹(ピアノ)/
篠原悠那(ヴァイオリン)/三浦一馬(バンドネオン)/宮本笑聖(ヴァイオリン)/
DEPAPEPE/→Pia-no-jaC←/鍵盤男子(ピアノデュオ)/NAOTO(ヴァイオリン)/
藤原道山(尺八)/TSUKEMEN/LE VELVETS/朝夏まこと/伊礼彼方/エリアナ/
長夏美/種田梨沙(声優・トーク出演)/茅野愛衣(声優・トーク出演) and more...
【指揮】青島広志/松沼俊彦
【アンサンブル】神奈川フィルハーモニー管弦楽団/
シアター オーケストラ トーキョー/STAND UP! ORCHESTRA/
川崎市立高津高校吹奏楽部/神奈川県立勢多高校吹奏楽部・合唱部
公式サイト: <https://standupclassicfes.jp>

会員様限定に優待

イープラス presents

『STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019』
ワンドリンク付チケット販売(先着順)

受付期間: 7月18日(木)10:00~8月31日(土)18:00

対象席種: 1日券プレミアムシート(指定席): 25,000円
1日券自由席エリアA(ブロック指定): 13,800円
1日券自由席エリアB(ブロック指定): 9,800円
1日券芝生エリア(自由): 8,800円
1日券芝生エリア(18歳以下): 4,800円

ドリンク引換方法: チケットとは別にワンドリンク引換券が発券されますので、会場内オフィシャルバーにてご提示ください。

※やむを得ず、出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※転売やオークションなどへの出品は禁じます。
※芝生エリアへはすべてのお客様にご入場いただけます。
※プレミアムシート、自由席エリアへのご入場にはそれぞれのチケットが必要です。
※プレミアムシートは指定席、自由席A・Bはブロック指定となります。
※4歳以上チケット必要(3歳以下は保護者1名につき1名のみ入場無料・プレミアムシート、自由席A・Bエリア内では着上でのご鑑賞をお願いいたします)。
※芝生エリア(18歳以下)チケットご購入の方はフェス当日、年齢確認ができる身分証をご持参ください。
※雨天決行。

チケットの申し込みは
P.19「会員様限定チケットのお申し込み」をご覧ください。



五嶋龍さんサイン入りCD
『レジェンド』を抽選で
5名様にプレゼント

応募期間: 8月18日(日)まで

詳しくは セゾンカード ▶ 五嶋龍

※セゾンカードホームページ右上の検索窓に「五嶋龍」と入力の上、検索してください。

※ご当選者の方には、8月下旬にカードご登録の住所へプレゼントをお送りいたします。
※転売やオークションなどへの出品は禁じます。



SAISON PLATINUM
AMERICAN EXPRESS® CARD
NEWS

August
2019

8

生きた音楽

「サバイバルという哲学」

100 years of Value
五嶋龍氏が語る、永久不滅な表現



クレディセゾン
はサッカー日本代表の
サポーティング
カンパニーです。

©JFA

P L A T I N U M

SAISON PLATINUM AMERICAN EXPRESS® CARD

7歳で楽壇デビュー 天性のヴァイオリニスト

トップアスリート並に鍛えあげた上腕から背中にかけての筋肉が、肩に乗せたヴァイオリンを実際よりも少し小さく見せるようだ。五嶋龍氏は右手で弓を動かし、弦の上に静かに走らせると、滑らかな弦楽器特有の音色が流れた。

「家族全員がヴァイオリニストだったので、ヴァイオリンの音は当たり前のように聴いていました。弾きはじめてのは、姉のことがうらやましかったからだと思います。自分ではなかなか周回から大事にしてももらえないんだらうとジェラシーを感じて、物心ついたときには、もう弾いてましたね」

母・五嶋節氏、姉・五嶋みどり氏という一流のヴァイオリニストに囲まれた家庭に育ち、3歳でヴァイオリンをはじめた。

そして7歳、「パシフィック・ミュージック・フェスティバル」でバガニーニの「ヴァイオリン協奏曲第1番」を弾き、デビュー。まだことも用サイズのヴァイオリンを抱えた少年が難曲を奏でたとは衝撃的だが、才能と環境に恵まれたとはいえ、並大抵の練習ではなかったはずだ。

「やりはじめて大変さに気づきました。そして、ほとんどん大家に（苦笑）。実は楽しいと思ったことも

ないんです。僕も楽しさより、結果が欲しかった。また自分のなかに、ヴァイオリンがなければ、人間としての価値がなくなる。という恐怖感もありました。そうして、いつの間にかヴァイオリニストになっていった感じです」

本人の意思以前に世の脚光を浴びるのは、選ばれた人の常だろう。ソリストとして世界有数のオーケストラと次々共演し、日本でもCMなどで早くから注目される。十代半ばでドイツのクラシックレーベルの名門、グラモフォンと専属契約を結ぶまでになり、27歳のときにはクラシック音楽の長寿番組『題名のない音楽会』の司会に、番組史上最年少で就任した。

幼い頃からクラシック音楽になじんできた五嶋氏自身が、音楽そのものの魅力を痛感したのは、高校生になってからのこと。

「音楽の奥深さ、芸術文化のひとつとしてのすばらしさを感じたのは、高校に入ってから。さまざまなジャンルの音楽を聴くようになってからです。そこで『音楽は真実を語っている』と気づいたんです。一人ひとりが自分の視点で見た真実を形にしているのが芸術であり、その形が音楽や絵画といったものですよね。そこには感情や感覚、感性などで見た作者の現実が書きとめられているんです」

どんな音楽でも、人が自ら好ん

100 years of Value
In praise of those vintage items that last for a 100 years... enriching our intellectual life.

五嶋龍氏が語る、永久不滅な表現

生きた音楽

「サバイバルという哲学」

7歳でバガニーニの難曲「ヴァイオリン協奏曲第1番」でデビューを飾り、スターの輝きに、完璧な技巧と表現力をもって活躍するヴァイオリニスト、五嶋龍氏。

ハーバード大学で物理学を専攻し、空手家という顔ももち、国際文化交流や教育支援などの社会貢献にも積極的である。そんな多才な彼の音楽性をひとくきりワードが、「生きた音楽」。その真意とは何か。現代と響き合うクラシック音楽の伝道師、五嶋氏の芸術世界のビジョンに迫る。

photograph: COVIER P.27-6 Junji Ishiguro
hair: P.27-6 Kenichi Yasuura
styling: P.27-6 Kenichi Yasuura
styling: P.27-6 Kenichi Yasuura
styling: P.27-6 Kenichi Yasuura

五嶋龍 (ごとう りょう)
(1988年、アメリカ・ニューヨーク生まれ、ヴァイオリニスト)
3歳からヴァイオリンをはじめ、95年、7歳で「パシフィック・ミュージック・フェスティバル」にてデビュー。
以後、世界屈指のオーケストラ、音楽家と共演、2003年、ドイツのクラシックレーベルの名門、グラモフォンと専属契約し、アルバム「レジェンド」なども発表。
2015〜17年には「題名のない音楽会」(テレビ朝日系列)の司会を務める。
9月28日、29日の「STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019」出演ほか、国内外でコンサートを予定。
使用楽器は日本音楽財団より貸与された、1722年製のストラディヴァリウス「ジュビター」。

公式ウェブサイト <https://www.ryugoto.com/>
Twitter: @RealRyoGoto

衣装はすべてスタイリスト私物

真実を語る芸術である。
それが音楽のすばらしさだと
気づくことができた

で聴くのは、それぞれの音楽が語る真実、その視点に共感しているから。音楽には作曲家、演奏家、聴く者の内面を照らす力がある。「ひとつの表現方法、回路としての音楽のおもしろさが見えた。道がつくられるような思いでした」

クラシック音楽と空手 「生き残る」を極める

がっしりした体格にも納得だが、五嶋氏は7歳から稽古を積んできた空手家でもある。音楽と空手。そこには共通するものがあるという。「生きてるってどういうことだろうと、最近、自分の哲学を考えると、自分なりの哲学がある。その表現の仕方が音楽と空手で、やっていることのすべてが自分の哲学につながっていると思うんです。惹かれるのはなぜかと考えることで、自分を知る。音楽も武道も、自分にとっての意味、正当な理屈がないとピタッとこないんです。その意味で、僕の哲学をひとりで表現すると、サバイバルイズム。だと思います」

生き残ること。少し大げさにも聞こえる言葉だが、実際、「いつか山に籠もり、1ヶ月ぐらいサバイブしてみたい」とも話す。「現代はいろいろなことが指先でできるようになった。生き残る。でもそれでは、生きていない」

もち、想いが凝縮されている。そう考えると、協奏曲ならその20分、40分の中身がすくなくわかりやすくなる。また、そうした音楽には生命力があります。そんな本能的にインパクトのある音楽が、求められているとも思う。僕の本職は、それを求めてますね(笑)」

タイムレスな本質と 現代に合った演出と

精緻な演奏テクニックに情感とパッションを自在に乗せ、自らの音楽を表現する五嶋氏は、機会あるたびに「クラシック音楽に必要なのは『生きた音楽』と語っている」。

「例えば、モーツァルトが生きていた時代のように、モーツァルトの曲を演奏しようとしても無理です。伝わらないと思うんです。人は五感で環境を感じているものですが、現代のインターフェイスや環境は昔とは違う。江戸と東京をとっても、一日のペースや時間の感覚もおそらく違いますね。だから、昔のものを現代にそのまま再現してもしっくりこない。それよりもコアの部分のメッセージはそのままに、その包み方、つまり演出やプレゼンテーションを今に合わせていく。それが現代に必要な、生きた音楽だと思っています」

本質的なメッセージはそのままに、現代的なアレンジや舞台演出、衣装

という根底にある力を見失う気がします。根源的なものを忘れてはいけないと思うんです。僕のイメージでは人間はファイター。生き延びることに意味があり、そこを根拠として、木の枝のように文化、芸術といったものが伸びているんじゃないかなと」

古来、人間が生き残るための武術があり、それらが極められ、進化した先に型の美しさを説く武道がある。その原始的なサバイバル本能と洗練の美の間の距離を縮めたい。五嶋氏の哲学にあるそんなロジックは、音楽にも通じる。

「楽曲には愛や悲しみといったテーマが表されていますが、僕が好きなのは、そうしたテーマを曲に投影したい！自分が感じたこと、イメージしたことを残したい！と、つくり出された音楽です。体が朽ちても、精神性は音楽に残る。それもサバイバルですよ」

たしかに、クラシック音楽は個人の命のスパンを遙かに超えた時間軸で生き残り、鑑賞されてきた楽曲の集積である。

「人間の文化のなかで尊いものは、時間の制限があるからこそつくられてきたと思います。いつか死ぬからこそ『生きたい、何かを残したい』と、限られた時間のなかで作曲家たちも何かを残そうとしたんだなと思うと、その作品が愛おしくなります。一音一音が意思を

を取り入れ、今に生きる人々の五感との距離を縮める。オペラをはじめ、クラシック音楽ではそんな試みも盛んに行われている。そして、今に生きた音楽、演奏家が表現するには、音楽の本質を理解することがまず必須となる。

「本質的なものをきちんと理解すれば、演出は意外と楽にできますからね。現代の人間である自分が、自分らしく納得するようにやれば、ある程度皆さんに伝えることができます。武道も同じ。突き詰めれば、音楽の本質と共通していると思います。僕は高校生の頃、映画音楽が好きになったんですが、『あれ？これクラシックじゃないか』と思うことが多々ありました。何がクラシックかクラシックじゃないかをわけているのは、使っている楽器やオーケストラなどの演奏の形態の違いだったりもするんです」

原曲がクラシック音楽と知らずに楽しんでいて、ということも実は少なくない。特に映画音楽には、シーンの演出にクラシック音楽が効果的によく使われている。

「デイズ・ノー映画の『ファンタジア』は特に有名ですね。パッパやチャイコフスキーなど、あの映画でクラシック音楽を知ったこともたちがたくさんいた。魔術師のところでミッキーマウスがいたずらをするシーンに流れる音楽(デニカス作『魔法使いの弟子』)なんてびっぴりです。自分

100 years of Value
In praise of those vintage items
that last for a 100 years,
enriching our intellectual life.

本能が求めるのは、生命力。
クラシック音楽に宿る本質を
今に合った形で伝えたい



五嶋龍氏も出演する全野外型クラシック音楽祭

イープラス presents

『STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019』

『STAND UP! CLASSIC FESTIVAL』(スタクラフェス)

が今年も開催される。

今回は開催日を2日間に拡大。

潮風感じる開放感あふれた特設会場で、
100曲以上のクラシックの名曲を味わえる、極上体験をぜひ。

2日間に渡り開催される野外クラシック音楽の祭典

昨年、大盛況のうちに幕を閉じた、
全野外型クラシック音楽祭『STAND
UP! CLASSIC FESTIVAL 2018』。
“芝生の上でビールやワインを片手
に、自由なスタイルでクラシック音
楽を味わう”という、ロックフェス
さながらの非日常体験。あの興奮
と感動が今年も帰ってくる。

今回も、オーケストラの大迫
力の演奏が楽しめる「HARBOR
STAGE」と、ヒーリング・リスニン
グミュージックやジャンルの垣根
を越えた音楽が楽しめる「GRASS
STAGE」の2つのステージから、多

彩なラインアップをお届けする。

また特別出演として、五嶋龍氏
の出演も決定した。
「音楽の楽しさを、そのまま感じて
もらえるようなステージにしたい
と思っています。とにかく楽しませ
たい!」そしてこれをきっかけに、
クラシック音楽のコンサートに來
てくれるようになったらうれしい
ですね」(五嶋龍氏)

横浜港のサウンドスケープを感
じながら、気軽に、そして自由にク
ラシック音楽を楽しむ。きっと忘
れられない2日間になるはずだ。

DATA

イープラス presents

『STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019』

公演日: 9月28日(土)・29日(日) 開演: 10:30

会場: 横浜赤レンガ倉庫特設会場

出演: 【起会司会】松下幸雄(ピアノ)

【特別出演】五嶋龍(ヴァイオリン)

【ソリスト】坂田幸平(ピアノ)/上野耕平(サクソフーン)/

藤田真央(ピアノ)/榎岡武太郎(ピアノ)/配平順成(ピアノ)/

小林沙羅(ソプラノ)/北川景恵(バス/バリトン)/

西村信(テノール)/阪田知樹(ピアノ)/

榎原悠那(ヴァイオリン)/三浦一馬(バンドネオン)/

宮本笑里(ヴァイオリン)/DEPAPEPE/→Pia-no-(sC-)/

眞壁男子(ピアノデュオ)/NAOTO(ヴァイオリン)/

藤原遼山(R&B)/TSUKEMEN/LE VELVETS/朝夏まなと/

伊礼彼方/エリアンナ/昆夏美/榎田梨沙(声優・トーク出演)/

茅野愛衣(声優・トーク出演) and more...

【指揮】青島広幸/松沼俊彦

【アンサンブル】神奈川フィルハーモニー管弦楽団/

シアター オーケストラ トーキョー/

STAND UP! ORCHESTRA/

川崎市立高津高校吹奏楽部/

神奈川県立中央高校吹奏楽部・合唱部

公式サイト: <https://standupclassicfes.jp>



がマスターになったような気分にな
って、こともろくに感情移入でき
て(笑)。そんなふうにクラシック音
楽の入り口はいろいろありますね」

**主役感のある楽器
聴衆と響き合うライブ**

五嶋氏の愛器は1722年製の
ストラディヴァリウス「ジュビター」。
名手と名器のカップリングは聴衆
の耳にうれしいが、ヴァイオリン音
楽の個性とはどんなものか。

「弦楽器のなかでは高い音が出る、
スターパワーのある楽器ですね。
チェロやヴィオラが鉄塔のように
オーケストラの基盤を支える役なら、
ヴァイオリンはその上の線路を走り、
旋律を聴いてももらえる存在。ソロに
向いた楽器なので、ヴァイオリンは
トは周りがあまり見えないタイプ
が多いかもしれませんが(笑)。また
ピアノのように重音ではなく単音
を速弾きすることが多いので、クラ
シック音楽になじみのない人にも
聴きやすいといえますが、音楽の
深みである重層的な部分はヴァイ
オリニスト自身が勉強しなければ、
演奏に深みが出てこないんです」

究極のソリストは、スターとして
中心に立ちながら、周囲の協力を引
き寄せ、自分のイメージとおりの演
奏ができる技をもつとも。

「いつもそんな演奏ができればいい
んですが、コンサートはオーケスト

ラ、指揮者、聴衆、そして自分と要
素が多いんですね。しかも本番前の
限られたリハーサルで、それぞれの
個性を把握しなければいけない。
サッカーに例えれば、ピクアップ
チームを2日でまとめてワールド
カップに出場するような感覚かも
しれません」

聴衆との言葉のない交流も、五嶋
氏には大切な要素だ。文化圏が違え
ば物事の捉え方や間合いが変わっ
てくるなど、聴衆の個性はライブを
大きく左右する。

「音楽を聴衆の方々に届ける方法に
もいろいろあります。懐石料理のよ
うに全体のハーモニーが響くこと
もあれば、その中のひと皿、つまり
要素から入ってもらおうのいい場
合も。1楽章を弾き終わって、受け
入れられてないと感じたときは、2
楽章のここでレベル10までボリュ
ムをあげてみよう」とDJのミキジ
ングのように工夫もします。演奏家
は皆、DJみたいなところがあるん
ですよ」

研鑽を積んだからこそわかる楽
曲のよさを伝えることも、挑戦だ。
「一曲のなかには、何百時間かけて勉
強しているうちにすばらしさがわ
かってくるような曲もあれば、あっ
たります。そうした曲を初めて聴く人
たちに届けるときは、結核頭をひね
りますね。プレゼンテーションを工
夫して、音楽の本質を伝えることは、
やっぱりおもしろいです」

100
years of Value

聴衆とともに奏でる音楽。
演奏家は誰しもがDJ



会員様限定ご優待

イープラス presents

『STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019』 ワンドリンク付チケット販売(先着順)

受付期間: 7月18日(土)10:00~8月31日(土)18:00

対象席種: 1日券プレミアムシート(指定席): 25,000円、1日券自由席エリアA(ブロック指定): 13,800円、
1日券自由席エリアB(ブロック指定): 9,800円、1日券芝生エリア(自由): 8,800円、1日券芝生エリア(18歳以下): 4,800円
ドリンク引換方法: チケットとは別にワンドリンク引換券が発券されますので、会場内オフィシャルバーにてご提示ください。

※やむを得ず、出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。※販売やオークションなどへの出品は禁じます。
※芝生エリアへはすべてのお客様にご入場いただけます。※プレミアムシート、自由席エリアへのご入場にはそれぞれのチケットが必要です。
※プレミアムシートは指定席。自由席エリアA・Bはブロック指定となります。
※4歳以上チケットが必要(3歳以下は保護者1名につき1名のみ入場無料・プレミアムシート、自由席A・Bエリア内では路上でのご飲食をお願いいたします)。
※芝生エリア(18歳以下)チケットご購入の方はフェス当日、年齢確認ができる身分証をご持参ください。※雨天決行。

チケットのお申し込みはP.15「会員様限定チケットのお申し込み」をご覧ください。

五嶋龍氏サイン入りCD『レジェンド』を抽選で5名様にプレゼント

応募期間: 8月18日(日)まで

詳しくは セゾンカード 五嶋龍

※セゾンカードホームページ右上の横断幕に「五嶋龍」と入力の上、検索してください。

※この当選者の方には、8月下旬にカードご登録の住所へプレゼントをお送りいたします。

※販売やオークションなどへの出品は禁じます。



会員様
限定
プレゼント